

とうざん



有田町立有田小学校 校長 松尾 寛



寄贈されたメダカー式

残暑の中、運動会の練習に励んでいます！

今月25日(日)に予定している、有田小学校の運動会に向けての練習が大詰めを迎えました。連休明けの来週3日間で、当日、有田っ子のすばらしい姿をご覧頂けるよう、子ども達と教職員が、コロナ感染防止や熱中症対策の下、練習に取り組んでいます。保護者の皆様のおかげで、有田小学校の陽性者はわずかの状況です。より多くの有田っ子が運動会に参加できますよう、保護者の皆様のご理解とご協力を当日までお願いします。

今週は、全員リレーや全校ソーラン、ダンス、レク走、応援等の練習をしました。元気よく返事をし、笑顔で楽しく各種目の練習に取り組みました。中でも全校ソーランやダンスは、6年生を中心に下級生に踊りを教えたり、全校児童が声と動きを揃えて練習したりして、日に日に上達しました。運動会当日の有田っ子のソーランやダンスが楽しみです。6年生の保護者の皆様には、小学校最後の運動会でのお子さんのソーランやダンスを正面から撮影して頂けるよう、本部席周辺のエリアを準備していますので、お楽しみに。



バトンリレーをする2年生



動きやかけ声が揃う赤組応援



歌や移動が揃う白組応援



気合いを入れて踊るソーラン

子ども達のやきものの素焼きができました！

1学期に、全学年が取り組んだ焼き物づくりで、窯業室で乾燥させていたものを、9月9日・16日の2回に分けて素焼きをしました。昨年度まで窯焚きを担当されていた、原靖彦さんに朝5時前に来て頂き、12時間をかけてガス窯で焼いて頂きました。2時間毎に火力を調整したり温度変化を記録したりと終日、作業をして頂き、感謝しています。ありがとうございました。

2学期に絵付けをして、本焼きをする予定です。有田っ子の素敵な焼き物が今年も出来上がります。本年度、子ども達への指導や窯入れをして下さっている、庄村久喜様・西原章様・青木正安様・辻浩喜様・丹山未由紀様・土居陽子様、宜しくお願いします。



火入れされる原さん

メダカをいただきました！

町内4校の小学校に、謙仁会グループの出前講座の1つとして、メダカを30匹、浄化槽セット、水槽を寄贈して頂きました。

有田小学校では、6年生が贈呈式でいただき、5年生がお世話をします。5年生の子ども達は理科の学習でメダカを育て、観察をしたことがあり、朝、「先生、エサをやって良いですか。」と早速、世話を始めています。この取組は、治療や介護をされる病院や老人保健施設の方々が人の命や健康、介護に携わるように、子ども達に生き物を飼育する素晴らしさを学んでほしいという思いで行われています。生き物を育て、命の大切さを学んでいきます。ありがとうございました。



水槽にメダカを入れました。

集団下校しました！

9月14日(水)は、集団下校でした。防犯ふれあい隊の皆様に来校して頂き、感染防止のため、児童玄関前で子ども達の見送りをして頂きました。

毎日、子ども達の登下校を見守って頂き、ありがとうございます。まだまだ暑い日が続きます。どうぞ、ご自愛下さい。



防犯ふれあい隊の皆様にあいさつして帰る子ども達

クロームブックでのAIドリルについて研修しました！

子ども達が帰った後、今後、町内で取り組んでいく、児童一人1台の学習用端末(クロームブック)を使ったAIドリルについて、教職員で研修を行いました。これまでの綴じられた漢字ドリルや計算ドリルに加え、児童が自分のペースで学んでいく方法の1つとして、クロームブックによるドリル学習が始まります。その前に、教職員が使ってみて、操作方法を学びました。



私が小学生の頃、ボロボロになるまで使い込んだ漢字や計算のドリルは、これから様変わりしそうです。勿論、自分の手で書いて学ぶことも大切です。

1年生の国語科の授業を参観しました！

前回の学校日より、全国学力・学習状況調査の6年生の良い結果をお伝えしました。しかし、その国語科の「話すこと・聞くこと」に改善の余地が見られました。今年度、教職員が授業を互いに参観し、授業力の向上をめざしています。国語科では、物語文や説明文を読み、自分の考えを友達に伝え合ったり質問されたことに答えたりする話し合い活動に取り組んでいます。

1年生は、ひらがなを覚え文章を読むことができるようになりました。今回の授業では、説明文の『うみのかくれんぼ』に書かれてある、はまぐり、たこ、もくずしよいの身の守り方についてどれが上手な隠れ方をするかについて話し合いました。以下は、子ども達の対話の一部です。

子どもA：ぼくは、たこが一番、かくれ方がじょうずだと思いました。たこが色をかえることをはじめて知りました。

子どもB：わたしは、たこは体の色をかえられるから、すごいなあと思ったので一番にしました。

担任：体の色をかえるって、好きな色にかえられるということ？

子どもC：その色と同じにかわる。

担任：そう、まわりの色と同じにかわるんだね。なぜ、まわりの色と同じにかわるんですか。

子どもD：見つからないように。

子どもE：ぼくは、はまぐりを1位にしました。何でかという、はまぐりは大きくて強い足をもっているからです。

子どもE：かくれると、何も見えなくなるからです。(以下、省略)

以上のように、子ども達は文章に書いてあることや自分で考えたことを伝え合いました。授業が終わって、男の子が私のところきて、「こうちょうせんせい、ぼく、はじめてはっぴょうしたよ。うれしかった。」と話してくれました。友だちに自分の考えを伝えるための初めの一步であり、「よく発表したね。上手に話すことができたね。これからも発表してね。」と褒めてあげると、「わかった。」と嬉しそうに戻っていきました。1年生も一人ひとりの状況が異なりますが、話せたり聞き取れたりしたことを褒めたり、本を読んであげたりすることで、考える力は高まっています。



考えの理由を書く



友だちと話し合う



みんなの前で発表する